大阪府立千里高等学校

学校番号	３０１３

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ　改訂版」（三省堂）						
副教材等	・巻頭増補版　最新国語便覧（浜島書店） ・入試頻出漢字＋現代文重要語彙　ＴＯＰ2500　三訂版（いいずな書店） ・大学入学共通テスト対応　ＬＴ現代文２（浜島書店） ・評論速読トレーニング 1000（数研出版） ・読み・書き・覚える日本文学史必携（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、語彙力・読解力・表現力において、１年生で身につけた基礎的な国語の力を活用し、応用力を高めていくことを目標にして、より長文かつ難解な文章に取り組みます。
・グループでの話し合いや発表、教え合いなど、アクティブな活動も取り入れます。
・文章読解の基本は論理的に読むことです。「読む力」はもちろん、コミュニケーションのための「話す・聞く力」や意図を伝えるための「書く力」も同時に身につけていきましょう。
・書き手のものの見方、感じ方、考え方を通して、物事についての理解や関心を深めるとともに、多角的な視点から物事を捉えられるよう自身の視野を広げましょう。
・予習として本文を読み、辞書を引き、慣用句や熟語の意味を確認する習慣をつけてください。
・毎授業、1000 字程度の速読あるいは漢字小テストに取り組みます。計画的に学習しましょう。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。
・語彙力、読解力、表現力において、１年生で身につけた基礎的な国語の力を活用し、応用していく力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
方法　主たる評価	行動の観察、記述の点検（ワークシート等）	行動の観察（パフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析（ワークシート等）定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート等）定期考査	行動の観察、記述の確認（ワークシート等）、定期考査、小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	随想	最初のペンギン	○	○		◎	○	a:「最初のペンギン」についての筆者の考えを意欲的に読み取ろうとしている。 b:他者の意見を、尊重しつつ、積極的に自分の考えを述べている。 d:筆者の述べる「有限の立場」「神の視点」の違いを正確に読み取っている。「不確実さに立ち向かうこと」の重要性について、筆者の考えを理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	小説一	山月記	○	◎		◎	○	a:本作品をきっかけに日本の近代文学を初めとして、関連の世界文学にも関心を広げることができている。 b:朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、また自身も人物の心情や情景を把握して朗読することができている。テーマについて積極的に話し合い、それらをまとめて発表している。 d:李徴の自己分析のキーワードが表現するものを正しく理解している。 e:語句の意味・用法、表現技法等を正しく理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
前期	評論一	ミロのヴィーナス	○		◎	○	○	a:芸術論への興味・関心をもっている。 c:ミロのヴィーナスに対する筆者の考えをまとめ、内容の要約をしている。 d:ミロのヴィーナスの失われた両腕に対する筆者の考えを読み取っている。 e:熟語などに加え、ミロのヴィーナスに関する基礎的な知識などを理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	詩	永訣の朝 二十億光年の孤独	○	◎	○	◎	○	a:日本の詩や短歌について関心を持ち、他の作品にも触れようとしている。 b:詩や短歌を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確に捉えたり、表現を味わったりすることができている。 c:自分の考えや思いを表現できている。 d:詩や短歌を読み比べて、表現技法の違いや特有の感性の違いを意識して読解を深めることができている。比喩などの表現技法の効果を理解している e:文学史的知識を体系的に捉えられている。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査

	評論二	メディアと歴史	○	○		◎	○	a:文章の論理的な展開をたどりながら意欲的に読み進めようとしている。 b:筆者の主張を正確に読み取り、そのことについて話し合いを行っている。他人の意見を尊重して聞いている。 d:分かれている文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。「メディアと歴史」の関係について、筆者の考えを把握している。「第二の身体」というキーワードをめぐる筆者の主張を把握している。 e:「産業革命」や「情報メディア」について、おおまかな知識がある。本文の語句の意味を正しく理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
前期	評論二	コンクリートの時代	○	○		◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。科学と社会の関係について、自分なりの引きつけ方で考えている。 b:本文から読み取ったことをふまえて、現代社会と科学のあり方について考えたことをわかりやすく話している。 d:文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容を捉えている。現代社会における科学のあり方について、本文に即して把握している。 e:本文中の語句の意味を理解し、必要に応じて使いこなしている。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	小説二	蠅	◎	○		◎	○	a:小説のおもしろさを味わい、主体的に読み進めようとしている。登場人物についての記述を読み、主題について深く考えようとしている。 b:作品を読み、自分が考えたことを明確にして、話し合っている。 d:場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。「空虚」な宿場の風景をふまえながら、「蠅」が物語に対して持つ役割について考える。 e:新感覚派に関して、大まかな知識がある。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	評論三	スポーツとナショナリズム	○	○	○	◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。「情報社会」に対して、自分なりの引きつけ方で考えている。 b:本文中の語句や表現に着目して、身のまわりを見直し、考えたことや見つけたことをわかりやすく話している。 c:筆者の主張をふまえて、自分の考えを論理的に書いている。 d:文章の構成を理解し、論理の展開を把握している。本文中の「ナショナリズム」「自民族中心主義」「文明化」がそれぞれどのようなものか、正確に把握している。現代の情報社会における個人のありかたについて、本文に即して把握している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。本文で言及される歴史的出来事及び人物について、概略を理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査

後期	評論三	戦争の〈不可能性〉	○		○	◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 c:読み取った内容について、わかりやすい表現でまとめている。 d:論理の展開を理解し、内容の概要を把握している。本文中で紹介される説について、それぞれの文脈の中で正確に理解している。「そして世界が戦争化した」についての、筆者の主張を理解している。 e:本文中の語句の意味を理解し、また、作文等で使いこなしている。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	小説三	こころ	○	○	○	◎	◎	a:近代の巨匠による本格的な文学に触れ、登場人物の心理を考え、それをもとに自己を見つめることの面白さに気づけている。また、他の漱石作品を読んでみようという意欲を持てている。 b:「K」の自殺の意味について、グループで互いに意見を出し合いながら、深い討論をしている。 c:作品論、もしくは登場人物について、説得力のある文章が書かれている。 d:「K」と「私」の心情の流れを的確に捉え、「Kの自殺の意味」について深く考えられている。全文を正しく音読し、語句の意味・用法を理解している。 e:夏目漱石の他の作品やその思想について理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
後期	小説二	レキシントンの幽霊	◎	○		◎	○	a:小説のおもしろさを味わい、主体的に読み進めようとしている。登場人物についての記述を読み、主題について深く考えようとしている。 b:作品を読み、自分が考えたことを明確にして、話し合っている。 d:場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。「僕」は「レキシントンの幽霊」の体験をどのように受けとめたのか、「幽霊」が物語に対して持つ役割について考える。 e:比喩表現に関して、大まかな知識がある。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査
	評論三	「である」ことと「する」こと	○		○	◎	○	a:文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、意欲的に読み進めようとしている。 c:教材文を読んで考えたことを、自主的に収集した情報を参照、活用しつつ、まとめている。 d:段落ごとの要旨を把握し、全体の構成を理解している。現代の国際社会における文化の多様性について本文に即して読み取っている。日本の「近代化」について筆者独自の考え方を読み取っている。 e:「である論理」「する論理」など本文中に出てくるキーワードについて正しく理解している。	・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・小テスト ・定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力　　c: 書く能力

d:知識・理解　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。